

[活動報告]

日本機械学会 2019 年度年次大会
ワークショップ[W20100] 産業考古学シリーズ
ワークショップ[W20200] 戦後の技術開発史を語る

開催概要報告

秋田工業高等専門学校
齊藤 亜由子

開催日： 2019 年 9 月 9 日 (月) 13:00~14:00, 14:15~15:15
会場： 秋田大学 手形キャンパス 理工学部5号館 101教室
参加人数： 23名 (講師を含む)

ワークショップは、例年と同様に「産業考古学シリーズ」と「戦後の技術開発史を語る」の2つの企画とし、技術と社会部門主催、ロボティクス・メカトロニクス部門の共催として開催した。部門関係者以外にも多くの聴講者が参加し、参加者23名（講師を含む）と盛況であった。

まず、「産業考古学シリーズ」としてTDK株式会社 高川建弥先生に“エレクトロニクスの発展とフェライトの進化”の題目でご講演いただいた。ご講演では、はじめにTDKの歴史として、TDKの創始者である齋藤憲三氏が日本で初めてフェライトの工業化に成功するまでの経緯をご紹介いただいた後、フェライト製品、フェライト製造方法の変遷について、製造過程の動画等を交えながら分かりやすくご講義いただいた。

次に、「戦後の技術開発史を語る」として秋田大学 国際資源学部 DOWA寄附講座 川村茂先生に“秋田県の鉱山・製錬・リサイクルの変遷と世界トップを目指す DOWA のメタルリサイクル技術”の題目でご講演いただいた。ご講演では、はじめにDOWAホールディングスの系譜として、藤田組から日立製作所、日産自動車、JXホールディングス、DOWAホールディングスへ分岐するまでの経緯をご紹介いただいた後、小坂製錬の製品、各種金属の精製手法について写真等を交えながら分かりやすくご講義いただいた。

参加者は熱心に聴講しており、講演後には活発な質疑がなされた。

最後に、大変有意義なワークショップとなりましたこと、改めて講師の高川先生、川村先生、またワークショップの開催にご尽力いただきました関係者の方々に深く感謝いたします。



講演の一コマ（産業考古学シリーズ）



質疑応答の一コマ（産業考古学シリーズ）



講演の一コマ（戦後の技術開発史を語る）



講演の一コマ（戦後の技術開発史を語る）

日本機械学会技術と社会部門ニュースレター: <http://www.jsme.or.jp/tsd/news/index.html>

日本機械学会

技術と社会部門ニュースレターNo.40

(C)著作権:2019 一般社団法人日本機械学会 技術と社会部門